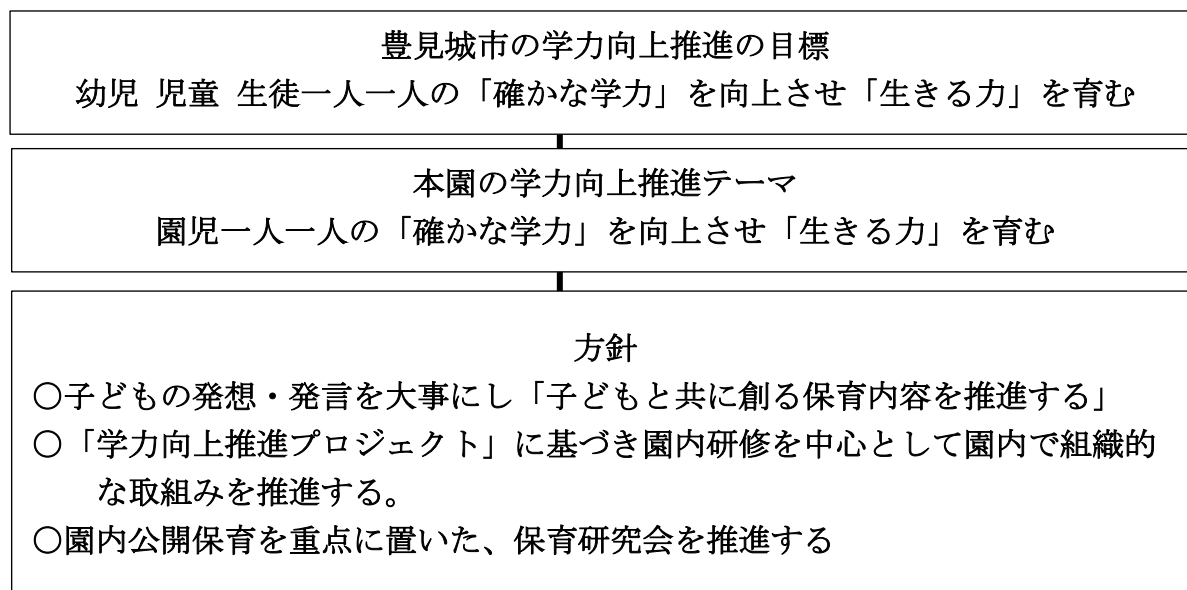


団体名 社会福祉法人群星福祉会 豊崎こども園	連絡先 TEL：098-851-3887 Eメール： toyosaki-kodomoenn@axel.ocn.ne.jp
---------------------------	--

1 本園の学力向上推進全体構想図



① 確かな学力の向上 自己存在感や自己肯定感を高める	② 生きる力 友だちを思いきり遊ぶ	③ 公開保育（園内研修） 子どもと共に創りだす保育
◎自主的に環境に関わり自分で工夫しようとする。保育室・遊戯室・園庭を自分達の思うようにデザインしよう。	◎仲間と遊ぶ中で自分の意志を伝える ◎遊ぶ中で相手の気持ちが分かる ◎意見の違う友だちに自分の言葉で伝えようとする。	◎子どもと共に創りだす保育 ・子どもの願い ・子どものやりたい事 ・子どもの発想 ・子どもの考えた事を発表する場面

実践Ⅰ 確かな学力の向上…こどもの主体的活動、発想、思いを引出し、活動につなげる

↓育つものは何？

自己存在感や自己肯定感を高める

- 自主的に環境に関わり自分で工夫しようとする
- 保育室・遊戯室・園庭を自分達の思うように作ろうとする

実践Ⅱ 「運動会」…3歳児 クラスのテーマ「えがお！えがお！」

運動会の種目を今までの運動遊びに挑戦して楽しいと思う種目を大好きな家族に見てもらう

運動会 R3年11月6日(土) 豊崎こども園園庭 各クラスごとに発表

◎3歳児 キーポイント

- ・これやってみたい(子)
- ・先生〇〇かっこいいね(子)

- ・あなたの友だちのすごいところは何だと思う？(T)
- ・あなたの考えた事すごいね(T)
- ・友だちのいいところは何？
- ・これやってみたい？

運動遊び(日頃)

- ・竹ポックリ ・ボール遊び ・段ボールもぐら ・けんぱ ・友だちとかけっこ
- ・動物列車遊び・訓練(重量挙げ) ・好きな曲に自分達で振りを考える



保育教諭(運動会2週間前)

- ・家庭に見せたい種目は？と子どもたちと相談
- ・運動会1週間前はやりたい種目を遊びの中でやる



そして種目を決定

運動会当日



運動会后1週間は、運動会ごっこ(運動会当日は出来なかった種目に挑戦して遊ぶ)

【反省・感想】

- ・どうぶつ列車の歌詞も自分達で考え、曲間はいろいろな動物になって表現しても良かった。
- ・サーキット遊び(竹ポックリでゆっくり歩く、段ボールモグラ、トンネルくぐり、フラフープ、ライフジャケット着装)のライフジャケット着装は、日頃から津波対策で時間を短縮するようにしているので、「自分の命は自分で守るようにしなくてはいけない」という、日頃の園の思いを伝えるようにしていたので、保護者の方々にもプログラムサーキットの中に折込んだ。
- ・日頃遊んでいる園庭で運動遊びの走、跳、バランス、筋力等を表現できたのは良かった。
- ・当日になり別の種目が変わった子がいたが、日頃から色々やっていたので、許容し、子どもも喜んでいました。
- ・Aさんが初めて、重量挙げのカウント役を「数える人やってみたい」と言ってきた。すごく感動した

4歳児

- ・広い園庭でタイヤ飛び 雲梯 ボール遊び かけっこ フープ けんぱ

10/26 今まで経験してきた運動遊びを思い出してやる

- ・バルーン ・平均台遊び ・短縄 ・トランポリン ・フープ
- ・園庭タイヤ飛び ・けんぱ

11/4 運動会で家庭に披露したい運動遊びについて自分がやりたい種目を決定する

11/6 運動会当日

●サーキット遊び

タイヤ飛び → けんぱ → 平均台 → 平均台より飛ぶ(自己目標ライン 40, 60, 80 cm)
→ トランポリン(選択:20秒) → フープ(選択) → ゴール

●バルーン(クラス全員の子も達が遊びの中で命名しました)

- ・ぼうし ・ひまわり ・あさがお ・テント ・花火 ・波 等

【反省・感想】

- ・短縄、トランポリン、フープは「できる」「やりたい」という子と「できない、違うのがいい」という声もあったので選択させるようにした。
- ・話し合い当初は、曲に合わせて①短縄飛び②バルーン遊びにするか意見が分かれたが、短縄飛びは選択にして、バルーン遊びは全員ですることになった。
- ・運動会後もいろいろな運動遊びに挑戦し、特に5歳児の運動遊びに興味を持ち運動会ごっこをする姿が見られた。またエイサーも5歳児の数名の子の様子をまねして5歳児が先生になり、自分達で踊る姿が見られた。



先生〇〇かっこいいね
これやってみたい！

先生みてよ。
僕、モグラだよ！



実践Ⅲ 生きる力「言葉で伝え合う」

生活発表会

5歳児

きのこダンス…個々の子どもが保育室で流れている曲を聴いて、曲に合わせて踊る。



それぞれの個々振りの良いところをクラスで話し合い決定した。

◎劇

- ・日頃の生活の様子を1つの劇(オペレッタ)に仕上げた
- ・日頃園内で友だちにハガキを書いて、園内郵便屋さん(主幹)がそれぞれ各クラスの子ども達に配達している



郵便屋さん

→ それをヒントに劇「もりのぼうけん隊」「すてきな誕生日」のストーリーが決定する(森の中の動物達が郵便屋さんからの招待ハガキでストーリーが展開していく)

◎考えたあそび発表(保護者へのクイズ)

- ・保護者に①水族館遊び、②動物園遊び、③ハンドベル遊び、それぞれの遊びの発表を雰囲気を出す為に、模造紙に大道具・小道具等を描く

① 水族館チーム …たくさんの大小の魚を描く

② 動物園チーム …子どもの国に行って会いたい動物を描く

③ ハンドベルチーム…曲を(ドレミの歌を演奏しながら、自分達で考えた歌詞を披露する)

①と②は保護者の方々へもクイズをだし解答していた

- 水族館チーム
- ①イルカとペンギンはどっちがおよぐのが速いでしょうか。
 - ②サメとシャチはどちらが強いでしょうか。

⋮

- 動物園チーム
- ① くじゃくは飛べるか、とべないでしょうか。
 - ② 像のキバは伸びるか、伸びないでしょうか。

⋮

【考察】

- ◎考えた遊び(水族館チーム・動物園チーム・ハンドベルチーム)は保護者にクイズ等を提示する為に魚類や動物園にいそうな動物をチームで図鑑で知らべ、何をクイズにするか話し合っていた。
- ◎絵はクレヨンと絵具で表現し、大きい魚類、大きい動物、小さい魚類、小さい動物があり、本物の水族館や動物園を表現しようとチームで協力していた。
- ◎クイズの答えは保護者が声を出さなくてもいいように○と×を考えていたところは素晴らしいと思ったし、会場にいる人たち(保護者)全員がクイズに参加していた。それぞれの子ども達(我が子)の成長を確信したというお褒めの言葉も聞かれた。
- ◎5歳児の「劇」、「考え遊び」の披露に対しては園生活の中の日常の会話、自分が提案したクッキング体験等が随所に「自分で考えた表現方法」として伝え合う総集として出ていたところはとても良かった。

実践Ⅳ 園内研修(園内公開保育、保育研究会)

回数	月 日 (曜日)	研修内容	実施場所
	5月18日(火)	保育研究会(年長児)	豊崎こども園
	7月1日(木)	保育研究会(年長児)	豊崎こども園
	10月6日(火)	保育研究会(年中児)	豊崎こども園
	10月19日(木)	障がい児実践保育研修	豊崎こども園
	10月20日(火)	研究保育(年少児)	豊崎こども園
	10月25日(木)	こどもと共に創る保育内容	豊崎こども園
	11月6日(土)	こどもと共に創る保育内容	豊崎こども園
	12月10日(金)	「社会福祉法人の使命」	豊崎こども園
感想と成果	<p>各クラスの園内公開保育では、担任の子どもとの関わり方やアイデアを見ることができ、普段じっくりと見ることのできない違った視点での年齢ごとの姿や成長を見ることができた。そして、他保育教諭の良いところや年齢に応じた環境設定など学ぶことができた。「自分だったら違った言葉がけや対応になってしまう」と考えさせられる面もあった。研修後は環境面にさらに目を向け、他クラスの良いところをヒントにし、クラスでは今までとは違った言葉がけなどをしたりして子どもにとってより良い保育になるよう心がけている。</p>		

今年度の園内研修で特に学んだことは、「保育研究 こどもと共に創る保育内容」である。普段の活動や遊びの中での子どもの発想の豊かさに驚き、私自身子ども達のおかげで日々の保育を楽しむ事ができている。「行事は遊びの延長線にある」ということを実感することができた。日々の子どもの声、つぶやき、遊ぶことの大切さが分かり、その中で保育教諭はどんな環境を整えるのかを考え、子ども達の力が発揮できるようにしていくことが大切であると学んだ。今後も子ども達の素敵なアイデアや声を大切にしながら、子どもとじっくり関わったり、思い切り一緒に遊びを楽しんでいきたい。



お父さん、お母さんクイズです。サメとシャチはどっちが強い？

郵便屋さんです。ご招待のハガキどうぞ！

